



平成23年6月16日
国土交通省九州地方整備局
八代河川国道事務所

平成23年6月10～13日の 球磨川の出水状況について

6月10日～13日にかけて、梅雨前線の活発化に伴う豪雨により、人吉市などに設置された水位観測所において、はん濫危険水位を超える出水となりました。その状況について速報としてお知らせいたします。

問い合わせ先

国土交通省 九州地方整備局 八代河川国道事務所
調査第一課長 藤本 雄介

TEL (0965) 32-4135

速報

平成23年6月16日
14:00現在

平成23年6月10～13日 球磨川の出水状況



人吉大橋上より(6月11日18:28撮影)

梅雨前線の活発化に伴う豪雨により、人吉市などに設置された水位観測所において、はん濫危険水位を超える出水となりました。その状況について速報としてお知らせいたします。



国土交通省九州地方整備局
八代河川国道事務所

※本速報に掲載されている数値等は、今後の調査により変わることがあります。

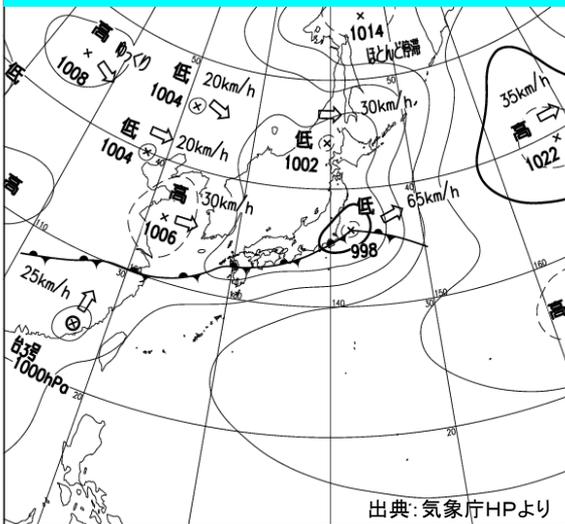
1. 気象概況

※今後の調査により数値等が
変わる場合があります。

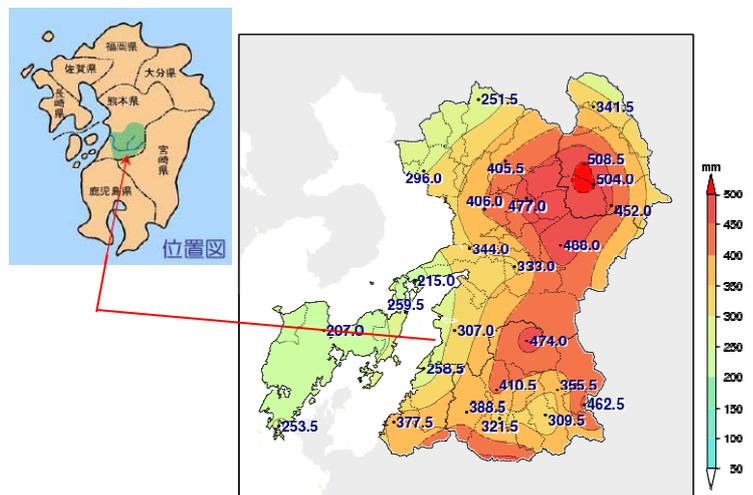
平成23年6月11日朝から昼にかけて、梅雨前線が九州北部より南下し、球磨川流域に停滞したことで大雨が降りました。翌日12日夕方まで大雨は続き、その後、球磨川流域を南下しました。この大雨の影響により、球磨川流域の総雨量注1)の平均値注2)は約412^{mm}に達し、上流の球磨川水系支川川辺川で総雨量477^{mm}を超えました。なお、人吉地点の総雨量は319^{mm}(時間雨量最大32^{mm})、八代地点の総雨量は267^{mm}(時間雨量最大48^{mm})でした。

注1):総雨量とは6月10日9時40分の降り始めから13日8時10分までの総雨量。以下、同じ。
注2):総雨量の平均値は流域内25箇所の雨量観測所の単純平均値。

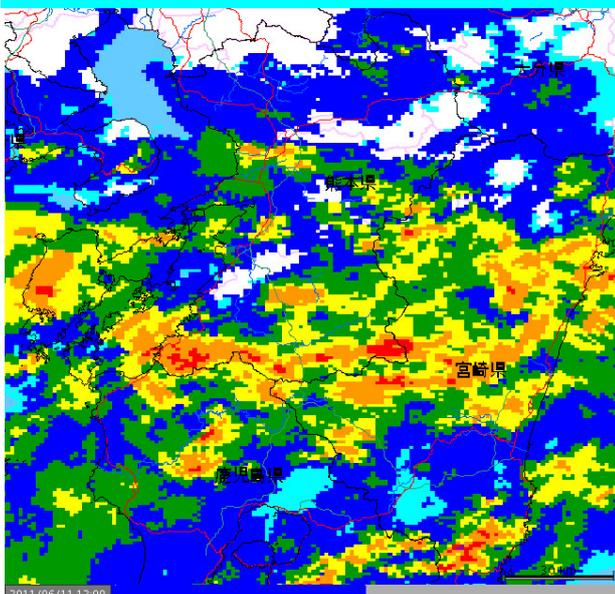
6月11日12時00分(天気図)



位置図



6月11日12時00分(レーダ雨量)



6月13日8時10分(総雨量)



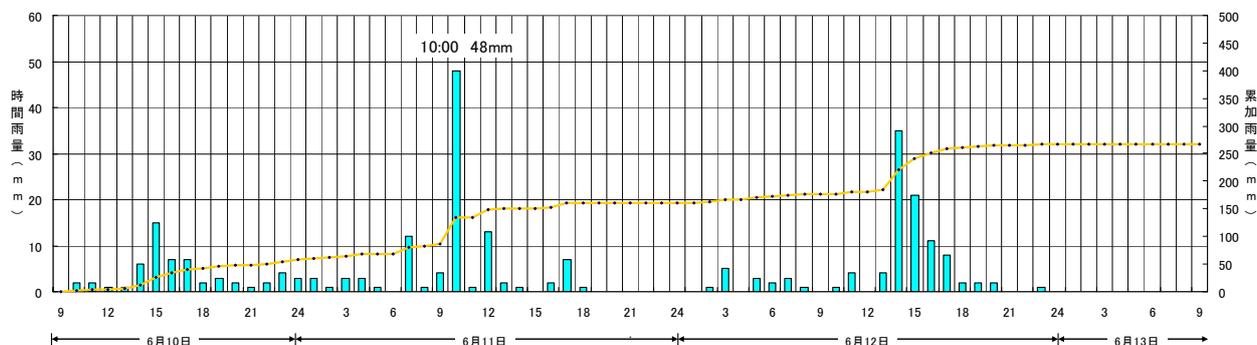
6月13日8時10分現在の雨量状況
(上段は8時~8時10分までの時間雨量、下段は雨が降り始めからの総雨量)

2. 降雨・水位状況

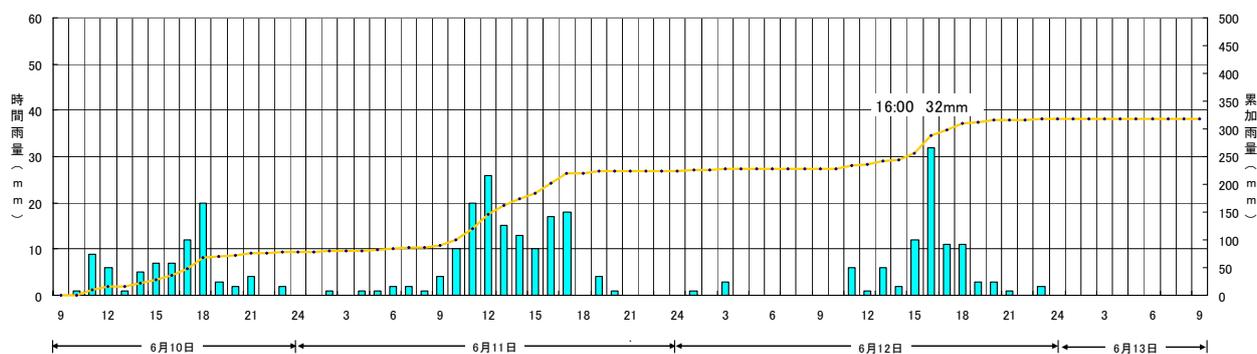
※今後の調査により数値等が
変わる場合があります。

1) 降雨状況(雨量グラフ)

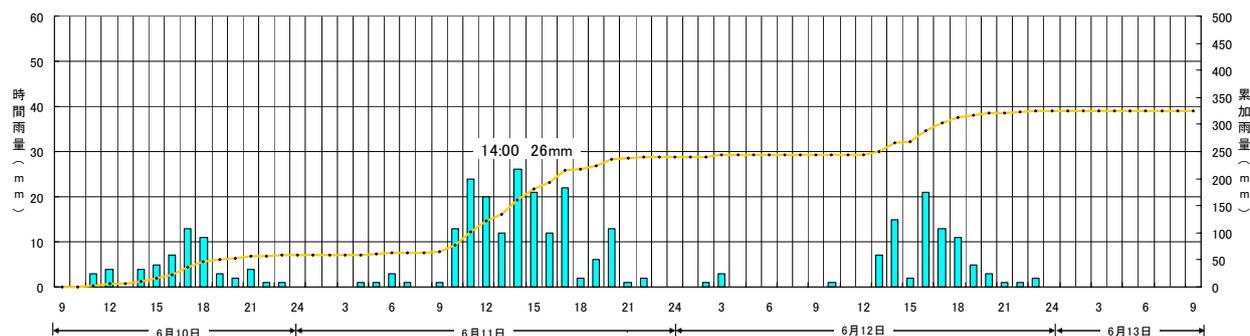
地点(八代雨量観測所) 期間(平成23年6月10日~6月13日)



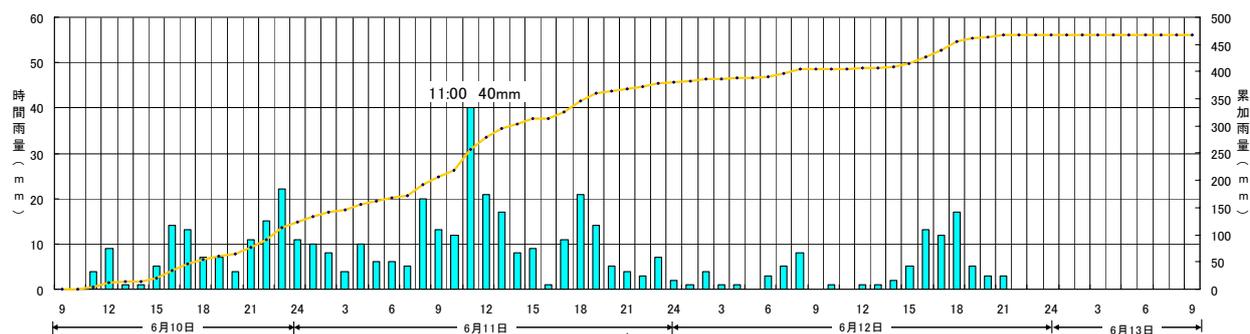
地点(人吉雨量観測所) 期間(平成23年6月10日~6月13日)



地点(多良木雨量観測所) 期間(平成23年6月10日~6月13日)



地点(五木宮園雨量観測所) 期間(平成23年6月10日~6月13日)

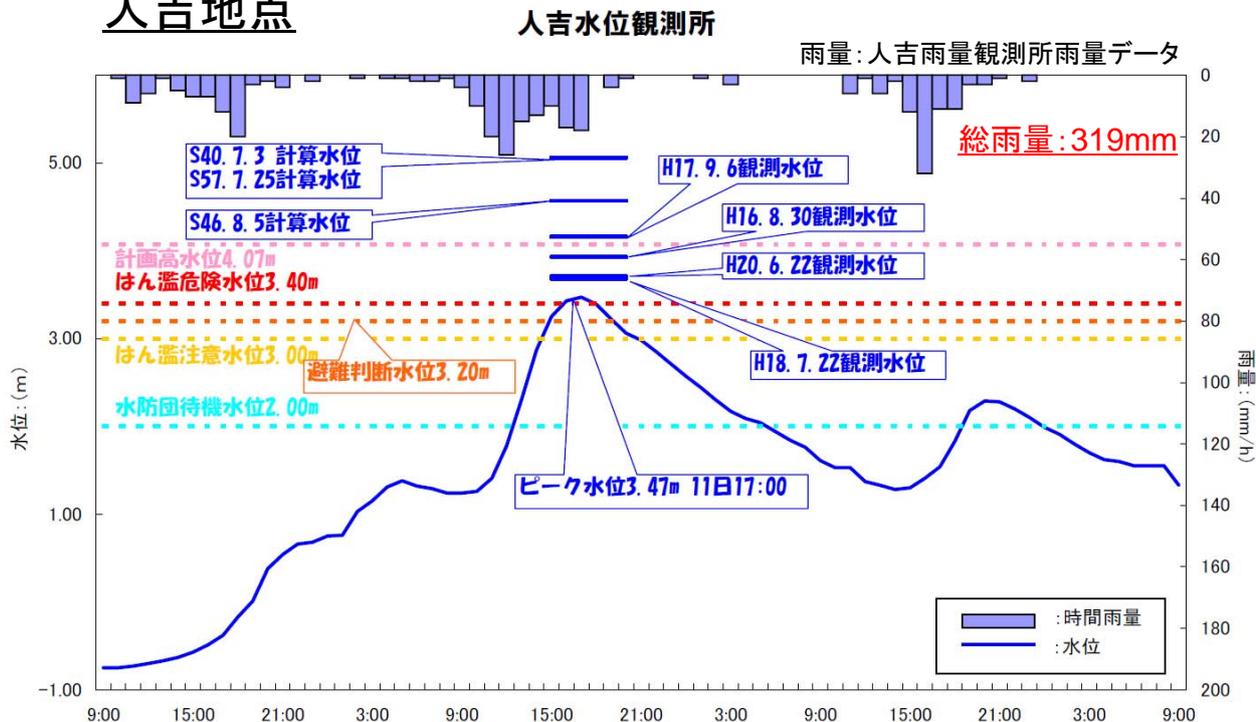


2) 水位状況(水位・雨量グラフ)

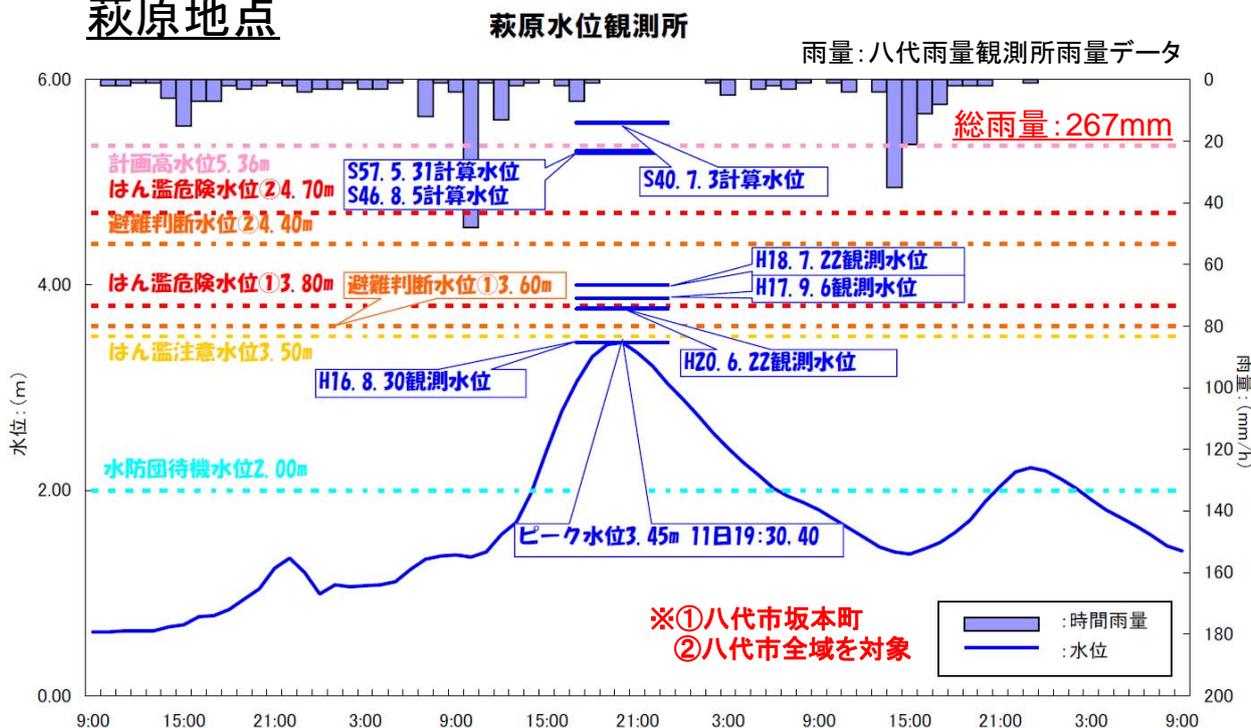
※今後の調査により数値等が
変わる場合があります。

人吉地点及び萩原地点において10日夕方頃から水位が徐々に上昇し始め、人吉観測所では
はん濫危険水位を超え、11日17時に最高水位3.47mを観測しました。萩原観測所では、最高
水位3.45mを観測しましたがはん濫注意水位には到達しませんでした。

人吉地点



萩原地点



※①八代市坂本町
②八代市全域を対象

- ※1) 水防団待機水位: 各水防管理団体が、水防活動に入る準備を行うための水位
- ※2) はん濫注意水位: 各水防管理団体が、水害の発生に備えて出勤し、または出勤の準備に入る水位
- ※3) 避難判断水位: 警戒を要し、避難を検討すべき水位
- ※4) はん濫危険水位: 一連区間で氾濫の恐れがある水位(堤防の整備状況などによって異なる。)
- ※5) 計画高水位: 計画の河道で計画の流量を安全に流すために設定した水位
- ※6) 計算水位: S40, 46, 57水位については、当時の洪水が現在の河道で発生した際に想定される計算水位

3. 被害状況等

6月13日15:00現在

1) 浸水家屋数

市町村名	主な地区名	浸水家屋(戸)			備考
		床上浸水	床下浸水	合計	
球磨村	渡地区、一勝地地区	4戸	4戸	8戸	内水
合計		4戸	4戸	8戸	

2) 避難勧告等状況

※河川沿いの地区以外にかかるものを含む。

市町村名	主な地区名	避難勧告等			備考
		自主・勧告	世帯数	人数	
八代市	西鎌瀬地区	自主	1世帯	1人	
人吉市	永野地区外5校区	勧告	—	70人	
あさぎり町	皆越・狩所地区	自主	2世帯	4人	
相良村	永江地区	勧告	73世帯	260人	
五木村	梶原地区	自主	1世帯	2人	
合計			77世帯	337人	

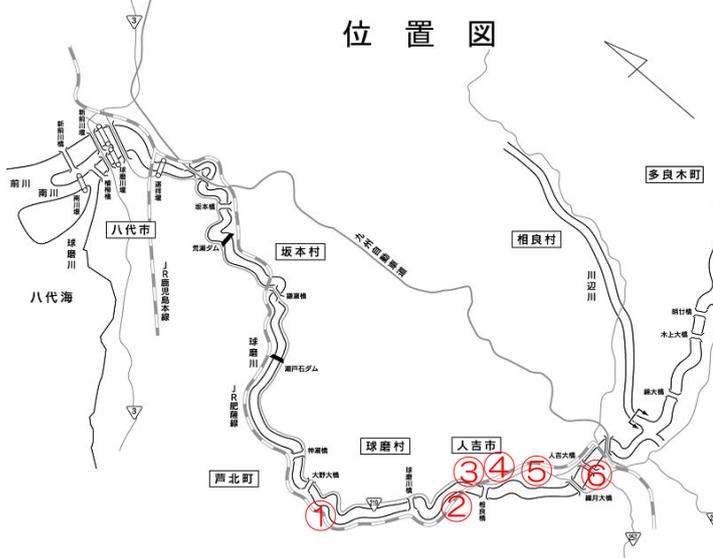
3) 水防活動状況

市町村名	地区名	水防活動状況			備考
		件数	人数	作業内容	
八代市	八代地区外3地区	4件	65人	巡視	
相良村	全域	14件	134人	河川監視、土嚢作成	
球磨村	渡地区外	—	80人	土嚢設置、バリケード設置、警備	
合計		18件	279人		

※各市町村の被害状況等を記載しています。各市町村からの聞き取りによるものであり、今後の調査により数値等が変わる場合があります。

4. 出水状況写真

1) 中流部 (芦北町・球磨村) 人吉市



※撮影はいずれも6月11日。

5. 事業実施効果

球磨川の中流部は、山間狭窄部であり地形的条件から連続堤防の整備が難しく、輪中堤方式や宅地嵩上げ方式等による治水対策を行っています。

今回の洪水において、改修を終えた地区については、家屋の浸水被害はみられませんでした。

		H16.8出水	H17.9出水	H18.7出水	嵩上げ完了	H20.6出水	事業完了	H23.6出水
渡水位観測所水位		9.38m	9.97m	9.98m	—	9.47m	—	8.95m
浸水家屋	漆口地区	6戸	6戸	6戸	—	6戸	H21.5	0戸
	淋地区	4戸	2戸	2戸	—	2戸	H22.5	0戸
	芋川地区	10戸	21戸	15戸	H20.3	0戸	H21.7	0戸

今回出水の水位は、各近年洪水より約0.4m～約1.0m低かったが、改修前の地盤高より高く、改修していなければ浸水の可能性があります。改修によりこれらの浸水被害を回避できました。

【位置図】



漆口地区



淋地区



芋川地区



渡水位観測所